

2010年9月吉日

**独自開発の測色器 標準搭載 大判インクジェットプリンタ
「VJ-1608HSJ」の発売について**

武藤工業株式会社

大判インクジェットプリンタの製造・販売を手掛ける武藤工業株式会社（本社：品川区、社長：早川信正、以下：武藤工業）は、独自開発いたしました測色器「SPECTROVUE（スペクトロビュー） VM-10」を標準搭載いたします新型インクジェットプリンタ「VJ-1608HSJ」を、本年10月上旬から販売を開始いたします。

「VJ-1608HSJ」は、従来カラーパッチ印刷後にメディアを切り離して測色し作成していたカラープロファイル、およびカラーキャリブレーションの作業を、測色器をプリンタのヘッド部分に装着することで、メディアをプリンタから切り離すことなく自動で測色し、測色したデータを自動的に RIP ソフトウェアに送信することで、カラーマネジメントの作業を大幅に軽減するものです。

搭載される測色器「SPECTROVUE VM-10」は、武藤工業が独自に開発した小型・軽量の分光光度計です。400nm ～ 700nm の可視光線スペクトルを測定することができます。また光源には省電力で寿命が長く、かつ耐衝撃性が高い LED を使用しております。

ロール材、板材のさまざまなメディアへ印字可能な「VJ-1608HSJ」に測色器を標準搭載することにより、これまで困難であきらめていた板状のメディアや、その他特殊な素材のメディアに対してもカラープロファイルの作成、およびカラーキャリブレーション作業をユーザーで行うことが可能となります。

「VJ-1608HSJ」の本体価格は 456 万円（オプション別）を予定しております。
（税抜き価格）

測色器「SPECTROVUE（スペクトロビュー） VM-10」の概要

■概要

色再現性の高さはプリント成果物の価値を高めますが、それを実現するためのカラープロファイルの作成については、現状、メディアメーカー、プリンタメーカーが提供するカラープロファイルに依存しているユーザーがほとんどです。

このたび、武藤工業がオリジナル開発した「SPECTROVUE VM-10」は、ユーザー自身が簡便にカラープロファイルを作成できるよう、プリンタへの組み込みが可能な小型・軽量・堅牢な測色器（分光光度計）で、大判溶剤プリンタ分野では唯一の製品です。

■システムの特徴

①ValueJetシリーズのプリントヘッド部に組み込み（VJ-1608HSJは標準、今後の新機種はオプション予定）、Onyx社が提供するRIPソフトウェアとの組み合わせで、ユーザーが独自・専用のカラープロファイルを作成できます。

②プリンタにセットしたメディアにカラーパッチを印刷し、非接触で自動に測色しますので、時間とメディアを節約でき、カラーマネジメントの作業が大幅に効率化されます。

③メディアメーカーやプリンタメーカーではカバー出来ないさまざまなメディアに対し、ユーザーが独自のカラープロファイルを簡便に作成できますので、メディアの選択肢を大幅に増やすことができます。

■SPECTROVUEの特徴

①小型・軽量・堅牢

②ValueJetシリーズへの組込型の測色器（武藤工業 独自開発の分光光度計）

③400nm ～ 700nmの可視光線スペクトルを測定可能

④光源には省電力で寿命が長く、かつ耐衝撃性が高いLEDを使用



プリンタヘッド部に取り付け、カラーパッチを測色している模様



測色データを送信している模様

< この件のお問い合わせは >

武藤工業株式会社 国内営業部

担当：真砂（まさご）

TEL 03-5740-7001 / FAX 03-5740-7011

E-mail : info.graphic@mutoh.co.jp